鹿市医郷壇

507　樋口　一風　選

兼題「厄払れ（やっばれ）」

天

清滝支部　**鮫島爺児医**

厄払れが効たとじゃろかい長ご生きっ

（唱）有難て事てな来年な米寿

（評）厄年は男に三回あるが、男の四十二歳は大厄と言われています。気にする人は、様々な方法で厄払いをします。大枚をはたいて友人や親せきを饗応したりします。

散財をすることで大厄を祓うのだそうです。作者も盛大な厄払いをされたのでしょう。そのせいばかりではないでしょうが長生きをされています。ありがたいことです。

地

伊敷支部　**谷山五郎猫**

気が小めで念ぬば入れっ厄く払るっ

（唱）後悔ん無かごっ祓るた後厄

（評）気にする人は厄払いは盛大にします。

特に気にする人は前厄、本厄、後厄と三回も厄払いをします。厄払いにもお祓いをする人や、玉串料を払って正式にお祓いをする人や様々なようです。

人それぞれのお考えがあるようで、気にする方は心残りの無いようにされればよいでしょう。

人

上町支部　**吉野なでしこ**

厄払れいご利益く願ごっ沢山払るっ

（唱）高天原もやっぱい諭吉

（評）お賽銭の多寡でご利益が違うと思うのは人間社会では仕方のないことです。少ないお賽銭で何か不幸があると、賽銭をケチったから自分のせいだと思い、沢山出して何かあったら神様が悪いと責任を転嫁できそうです。

精神の保険料として玉串料は沢山払いましょう。

五客一席　紫南支部　**二軒茶屋電停**

飲んごろは焼酎で厄払れけ済ませっ

（唱）我がをば祀っ追出た厄神

五客二席　清滝支部　**鮫島爺児医**

厄払れちあっちこっちん神み祈っ

（唱）納得か出来けじ神社を梯子

五客三席　**飛脚子一郎**

神主どんと行合たぶんで厄く払るっ

（唱）容姿ば見たな丸で神様

五客四席　伊敷支部　**谷山五郎猫**

厄払れな金髪青年も頭を下げっ

（唱）容姿しゃ派手じゃいが心根しゃ俺が孫

五客五席　清滝支部　**鮫島爺児医**

子や孫ん厄払れをしっ福く願ごっ

（唱）十九歳ん娘も二十五歳ん長男も

秀　逸

清滝支部　**鮫島爺児医**

厄払れち言ながら毎晩焼酎を飲ん
二十五歳で厄くば払らおち富士登山
厄年が過ぎてん神に感謝しっ
頼いしっ厄払れ願ごっ神社参い
厄年も知たじ厄払れなんだせじ

上町支部　**吉野なでしこ**

厄払れも座席く離せっ座らせっ

伊敷支部　**谷山五郎猫**

厄払れを硬貨ですますっ吝嗇家

作句道場

鹿児島では厄払いは節分の日にします。特に男の四十二歳と女の三十二歳は大厄で盛大に行う方があります。また厄年を挟んで前厄・後厄と厄払いをする人もありました。

昔は夜中に十字路に、年の数だけ小銭を撒いたり、親しい人を呼んで饗応したりしたものでした。

だからそのような句が出てくるのかと期待していたのですが。

薩摩郷句鑑賞　146

三條風雲児著

薩摩狂句暦

税務署ち知たじ女房どま法螺を吹っ　**有薗　紅六**

商売が大繁盛で儲けがあるように吹聴することは、店の宣伝という意味では効果があるかも知れないが、相手が悪かったわけである。「その割には、申告が少ないようですが、脱税じゃありませんか」と言われたら大変だとばかり、はたで気をもんでいる主人の顔が想像されておかしい。

法螺だろうと、事実だろうと、話を聞いただけで税金をかける税務署員もおるまいが、ちょうど確定申告の時期だけに面白い。

初市の起上小法師い運をかけっ　**泊　光秀**

各地で初市が開かれている。鹿児島市では、照国神社の境内に、五十六店が参加して、二月の土曜、日曜、祝日に開かれている。昔から、「初市に風に吹かれると体が丈夫になる」という言い伝えがある縁起市だけに、初日など三万人の人出でにぎわった。

かつては人形市と言われていたほどで、幸運を祈って起き上がり小法師を買い求める姿がほほえましい。

薩摩郷句募集

◎**4**号
題　吟　「発表（はっぴょ）」
締　切　令和4年3月4日㈮

◎**5**号
題　吟　「灰汁粽（あっまっ）」
締　切　令和4年4月5日㈫

◇**選者　樋口　一風**

◇漢字のわからない時は、カナで書いて応募くだされば選者が適宜漢字をあててくださいます。

◇応募先　〒八九二―〇八四六
鹿児島市加治屋町三番十号
鹿児島市医師会『鹿児島市医報』編集係
TEL　〇九九―二二六―三七三七
FAX　〇九九―二二五―六〇九九
E-mail：ihou@city.kagoshima.med.or.jp